

## 社会福祉法人まことが求める人材

採用面接は、私たちが一緒に仕事をする仲間を選ぶ場所でもあり、応募者が職場を選ぶ場所でもあります。どのような人材を求めているかをお互いに確認し合えるよう採用面接時にお伝えしている内容です。

### 【 社会福祉法人まことの求める人材 】

#### 1. 顧客意識を強く持ってご利用者と関わろうとする人

「ご利用者 = 料金を支払って、サービスを受けている側」

「職員 = 報酬を得てサービスを提供している側」

高齢者の尊厳を守ることに加えて、我々の仕事はボランティアではないことを十分に認識しなければなりません。そのスタートは接客マナーですので、丁寧語の使用とタメ口の禁止を徹底します。顧客意識を強く持って関わることが求められます。

#### 2. 法人・各事業所の理念や方針を理解し、実践しようとする人

職員個々の価値観や介護観は多種多様で尊重されるものですが、チームケアを実践するためには、方向性を統一する必要があります。道標でもある法人・各事業所の理念や方針を理解して実践しようとする姿勢が求められます。

#### 3. 誰にでも、笑顔で挨拶ができる人

チームケアを充実させていくためには人間関係を良好な状態に保つことが大切です。そのため第一歩が笑顔での挨拶です。また、接客において好印象を与えることにも繋がります。

#### 4. 相手の気持ちや背景を考え、行動ができる人

対人援助職として「相手の立場に立つ」ということはとても大切なスキルです。利用者本位のサービスを提供するために、チームケアを充実させるためにも、相手の立場に立って考え協調性を発揮することが求められます。

#### 5. 不平、不満、愚痴、を提案に変えようと心がける人

職場の雰囲気悪くする一番の要素は、職場や上司・同僚の不平・不満・愚痴をところかまわず発信することです。改善した方がよいと思うのであれば、改善するように提案することが大切です。陰で不平・不満・愚痴を並べても何の解決にもなりません。気づいたことがあれば、それを提案する姿勢が求められます。

#### 6. 正直な人

ご利用者に対する援助行為は密室で行われることが多々あります。援助者は正直でなければ成り立たない仕事です。ご利用者に発生する様々な出来事をありのまま正直に報告する姿勢が求められます。

#### 7. 問題意識・危機意識・当事者意識を持って行動しようとする人

人間は変化を好みません。何かを改革するには大きなエネルギーが必要です。しかし、顧客満足・職員満足を追求していくには改革が必要不可欠です。現状に満足することなく、常に改善を考える姿勢と、その気づきを行動に変えようとする姿勢が求められます。

#### 【 社会福祉法人まことに合わない人】

- 顧客意識が低い人
- 高齢者の尊厳を守るという意識が低い人
- 自分の価値観や介護観のみを主張する人
- 笑顔で挨拶ができない人
- 物事を自己中心的に進める人
- 他者やまわりを責めて、場所をわきまえずに不平、不満、愚痴、ばかりを言う人
- 自分の身を守るためにウソをつく人
- 変化を嫌い、旧態依然とした対応を貫こうとする人